

第1学年 技術・家庭（家庭分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。 ○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。 ○実習においては、安全面・衛生面に気を付けて取り組もう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主課題に取り組もう。 ○家庭での仕事に取り組もう。 <li style="padding-left: 2em;">特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事に取り組もう。 ○課題にていねいに取り組もう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。 ○学習内容をよく復習しておこう。 		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。(持ち物は机の上に揃えて出しておく。) ○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。 ○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。 ○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。 ○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。 		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	オリエンテーション 1編 未来につながる家庭分野 1章 家庭分野のガイダンス 2章 私たちの家族と家庭生活	期 末
	5	2編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 1 食事の役割 2 私たちの食生活	
	6	3 栄養素の種類と働き 4 中学生に必要な栄養 2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事	
	7	1 食品に含まれる栄養素 2 6つの食品群と食品群別摂取量の目安	
	9	3 バランスの良い献立作り 3章 調理のための食品の選択と購入	
	10	1 食品の選択と購入 2 生鮮食品の特徴 3 加工食品の特徴	
	11	4 食品の保存と食中毒の防止 4章 日常食の調理と地域の食文化 1 日常食の調理 2 野菜・いもの調理	
二 学 期	12	3 肉の調理 4 魚の調理	期 末
	1	5 日本の食文化と和食の調理	学 年 末
	2	2編 5章 持続可能な食生活 1 持続可能な食生活を目標として	
3			
三 学 期			

評価にあたって		
	評 価 の 観 点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。 生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト ワークシートの内容 発表、発言 実習・課題の取り組み方 作品
	<ul style="list-style-type: none"> 生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。 実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。 他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各活動への取り組み方 ワークシートの内容 実習・課題の取り組み方 作品
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。 日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。 家庭生活に関して、疑問等に取り組むことができたか。

第2学年 技術・家庭（家庭分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。 ○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主課題に取り組もう。 ○家庭での仕事に取り組もう。 特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事に取り組もう。 ○課題にていねいに取り組もう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。 ○学習内容をよく復習しておこう。 		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。(持ち物は机の上に揃えて出しておく。) ○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。 ○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。 ○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。 ○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。 		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって						
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法				
一 学 期	4	6編 私たちの成長と家族・地域 1章 家族・家庭生活での自立 2章 幼児の生活と家族	期 末	知 識 ・ 技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。 ・生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。 ・幼児、高齢者について理解し技能を身に付けたか。 ・環境に配慮したライフスタイルの確立について基礎的な理解をし、技能を身に付けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ワークシートの内容 ・発表、発言 ・実習・課題の取り組み方 ・作品 				
	5	1 幼い頃の振り返り 2 幼児の体の発達								
	6	3 幼児の心の発達 4 幼児の1日の生活								
	7	5 支えられて身につける生活習慣 6 幼児の生活と遊び								
	9	7 遊びを豊かにするもの 8 幼児との関わり方の工夫 9 幼児との関わりを生活に生かす					期 末	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。 ・実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。 ・他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
	10	10 子どもにとっての家族 3章 持続可能な家庭・地域生活								
	11	2編 私たちの食生活 3章 調理のための食品の選択と購入								
12	1 食品の選択と購入 2 生鮮食品の特徴 3 加工食品の特徴 4 食品の保存と食中毒の防止									
三 学 期	1	4章 日常食の調理と地域の食文化 1 日常食の調理 2 野菜・いもの調理	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っていたか。 ・生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。 ・日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 ・将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。 ・家庭生活に関して、疑問等に取り組むことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品・課題の提出や記入状況 ・忘れ物 ・発表、発言 				
	2	3 肉の調理 4 魚の調理								
	3	5 日本の食文化と和食の調理 5章 持続可能な食生活 1 持続可能な食生活を目標して								

第3学年 技術・家庭（家庭分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 NEW「技術・家庭」 家庭分野 教育図書	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <ul style="list-style-type: none"> ○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。 ○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。 ○実習においては、安全面に気を付けて取り組もう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭での仕事を手伝おう。 <li style="padding-left: 20px;">特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。夏休み・冬休みの課題にていねいに取り組もう。 <p><定期テストでは></p> <ul style="list-style-type: none"> ○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。 ○学習内容をよく復習しておこう。 		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。(持ち物は机の上に揃えて出しておく。) ○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。 ○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。 ○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。 ○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。 		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	B編 6章 私たちの住生活 1 住まいの働きを知ろう	期 末	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。 ・生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。 ・幼児、高齢者について理解し技能を身に付けたか。 ・消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立について基礎的な理解をし、技能を身に付けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ワークシートの内容 ・発表、発言 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
	5	2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう				
	6	3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう				
	7	4 家庭内事故から家族を守ろう				
	7	5 災害に備えた住まい方について考えよう				
二 学 期	9	「家族の安全な住空間の整え方」について考え、工夫する	期 末	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。 ・実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。 ・他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
		C編 消費生活・環境				
		1章 私たちの消費生活				
	10	1 買い物をふり返ってみよう				
		2 買い物の法律的な意味を考えよう				
		3 いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう				
	4 消費者トラブルを防ごう					
	5 消費者を支える仕組みを知ろう					
	2章 消費者の権利と責任					
	1 消費者の権利について考えよう					
	2 消費者の責任について考えよう					
三 学 期	1	3 消費生活が社会に与える影響を考えよう	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っていたか。 ・生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。 ・日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 ・将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。 ・家庭生活に関して、疑問等に取り組むことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品・課題の提出や記入状況 ・忘れ物 ・発表、発言
	2	4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう				
	3					